

スタディサプリを活用した東京都渋谷区立小・中学校での アダプティブラーニング実証実験結果のご報告

—両校で学習意欲・学力向上の結果がみられました—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社:東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、2016年より渋谷区立代々木山谷小学校および渋谷区立鉢山中学校における学習に関する実証実験を行っており、その結果をお知らせします。

■ICT教育を推進する渋谷区での『スタディサプリ』の活用

渋谷区では、2017年度に区立の全小・中学校において児童・生徒・教師に1人1台のタブレットを配備することが決定され、「渋谷区実施計画2017」においても、学校教育の充実、ICT教育の推進などが宣言されています。

『スタディサプリ』は、2016年5月より株式会社NTTドコモと渋谷区教育委員会によるタブレットを活用した「新たな学び」共同実証に参加し、渋谷区立代々木山谷小学校の5年生に、家庭学習および朝学習において学習教材として利用していただき、学習意欲・学力向上を調査しました。また、『スタディサプリ』単独での実証実験として、2016年11月より渋谷区立鉢山中学校の2年生に対して、到達度テストを受けてもらい、生徒個別の苦手分野を把握したうえで家庭学習においてドリル学習と動画視聴を行う、学び直し教材としての活用の実証実験を行いました。

本実証実験の特徴として、学習履歴から人工知能で生徒個人ごとの「苦手ポイント」を特定し、「苦手克服レコメンド」として「今、復習すべき講義」を生徒1人ひとりに提供するアダプティブラーニングの機能を両校で活用したことが挙げられます。これにより、生徒は自分専用の学習プランに取り組むことができ、対象の児童・生徒において全体の学力向上がみられました。

■実施概要

	渋谷区立代々木山谷小学校	渋谷区立鉢山中学校
計測対象	小学校5年生 計48名	中学校2年生 計31名
計測期間	2016年4月25日～2017年7月6日 ※利用は現在も継続中	2016年11月25日～2017年2月9日 ※利用は現在も継続中
対象教科	算数	算数・数学
スタディサプリ 利用方法	1：毎週火・木の朝学習の時間で復習に利用 2：家庭学習 3：個人の苦手単元がわかるレコメンドシート配布	1：宿題ノート*を利用した家庭学習 2：到達度テストを利用した小4～小6範囲の学び直し 3：個人の苦手単元がわかるレコメンドシート配布 *生徒が自由課題として取り組む宿題。1日2ページ学習する
学力調査 方法	①全体の変化：東京都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」における学力層の変化を前年と比較 ②スタディサプリの利用量と学力向上の比較： 利用前：「単元別テスト」、利用後：「同上」 それぞれ学校内の偏差値を算出し分析	①全体の変化：到達度テストを利用前・利用後と2回受け、正答率の変化を比較 ②スタディサプリの利用量と学力向上の比較： 上記同テストを利用しスタディサプリの利用量との相関を分析

スタディサプリについて

“世界の果てまで、最高のまなびを届けよう”をコンセプトに、教育環境格差の解消を目指し2011年にスタートした『スタディサプリ』は、月額980円（税抜）で実力派講師によるオンライン講義動画が見放題。2016年度は42万人（累計有料会員）が利用し、また、学校教育のサポートツールとしても、高校においては全国5,000校のうち965校、小中学校は38校、20の自治体に導入。 ○URL <https://studysapuri.jp/>

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

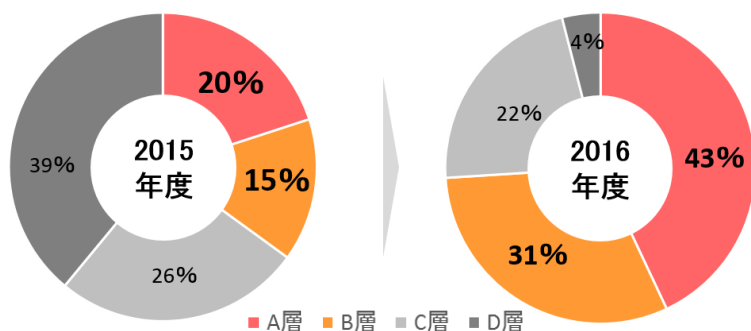
【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

実証結果：渋谷区立代々木山谷小学校

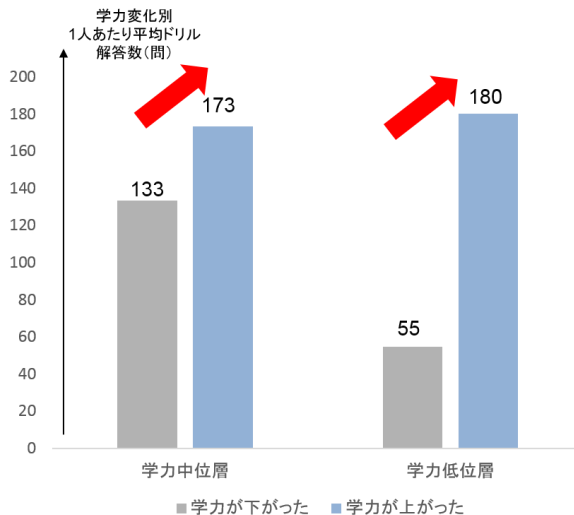
- 東京都学力調査の算数の結果（年度比較）で全体の学力向上がみられました。

学力上位層の比率がA層23%、B層16%と計39%向上した



各層は、調査者を正答数の大きい順に整理し、人数比率により25パーセント刻みで4つの層分けを行ったものであり、上位から順にA層、B層、C層、D層と呼称したものです。

- 学力向上とスタディサプリ利用量において、特に学力下位層での相関性がみられました。



- 学習意欲については生徒アンケートの結果、5割以上の生徒が「勉強が楽しくなった」、「勉強にやる気が出た」と回答しました。

（質問）スタディサプリによって勉強が楽しくなった

-とてもあてはまる:14%、あてはまる:46%、あてはまらない:34%、全くあてはまらない:6%

（質問）スタディサプリによって勉強にやる気が出た

-とてもあてはまる:8%、あてはまる:46%、あてはまらない:40%、全くあてはまらない:6%

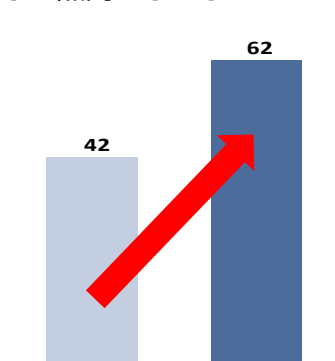
ー自由回答ー

- ・とても分かりやすいし、楽しく勉強ができる自分に自信がついた。
- ・勉強で苦手なところを克服できた、楽しい。
- ・サブモン*が成長していくのが楽しい。 *コインを貯めてモンスターを育てていくゲーミフィケーション機能

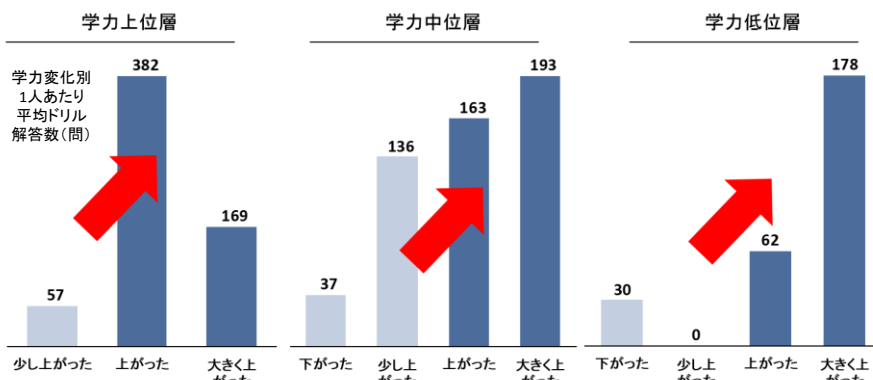
実証結果：渋谷区立鉢山中学校

- 到達度テストの受験：人によって苦手な単元・学習すべき内容は異なります。到達度テストは、生徒一人一人の苦手分野を特定し、学力向上のために何をどの優先順位で学ばよいかを診断できる紙で実施するテストです。鉢山中学校では算数（小4～小6範囲）の到達度テストを受験し、そこでわかった個人個人の苦手な単元をスタディサプリのドリルと動画で学習。代々木山谷小学校同様、レコメンドシートも利用しました。

- 到達度テストの平均点が実証前後で平均20点向上しました。



- 学力向上とスタディサプリのドリル利用量において、特に学力下位層での相関性がみられました。



- 学習意欲については生徒アンケートの結果、5割以上の生徒が「勉強が楽しくなった」、「勉強する習慣がついた」と回答しました。

（質問）スタディサプリによって勉強が楽しくなった

-とてもあてはまる:12%、あてはまる:44%、あてはまらない:36%、全くあてはまらない:8%

（質問）スタディサプリによって勉強する習慣がついた

-とてもあてはまる:8%、あてはまる:48%、あてはまらない:36%、全くあてはまらない:8%

ー自由回答ー

- ・毎日やっていて楽しいし分かりやすい。テストの結果も40点くらいから70点くらいまで上がった。
- ・動画だからテキストを解くより理解できるようになれた。
- ・少しずつ勉強しましたがとても楽しくできたので良かったです。なので、これからも続けたいです。